

ファンドの特色

- 1 主としてパインブリッジ・コモディティマザーファンド受益証券を通じて、米国ドル建ての商品指数連動債に投資を行い、Bloomberg Commodity IndexSM(以下「ブルームバーグ商品指数」といいます。)と連動する投資成果を目標として運用を行います。
 ●ブルームバーグ商品指数は、商品市場全体の動きを示す代表的な指数です。
- 2 投資を行う商品指数連動債は、原則としてA格相当以上の格付けを有する信用度の高いものとします。
- 3 実質組入れの外貨建て資産については原則として為替ヘッジを行いません。
- 4 毎月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益配分方針に基づいて分配を行います。なお、将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。

ファンド・データ

設定日	2006年2月23日		
決算日	原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日)		
基準価額	2,498(円)	分配金込み基準価額	4,217(円)
純資産総額	569(百万円)	(前期末比)	▲69(百万円)
マザーファンド組入比率	98.9%	キャッシュ等	1.1%

※計理処理の仕組み上、「キャッシュ等」の数値がマイナスになることがあります。

マザーファンドの組入状況

債券組入比率	98.2%	キャッシュ等	1.8%			
発行体	発行日	償還日	クーポン(%)	格付け S&P	格付けムーディーズ	組入比率(%)
UBS AG (UBS)	2018/7/18	2019/1/18	1.20	A+	Aa3	48.2
Barclays Bank PLC (バークレイズ銀行)	2018/4/18	2018/10/24	0.20	A	A2	50.0

分配金実績(1万口あたり、課税前)

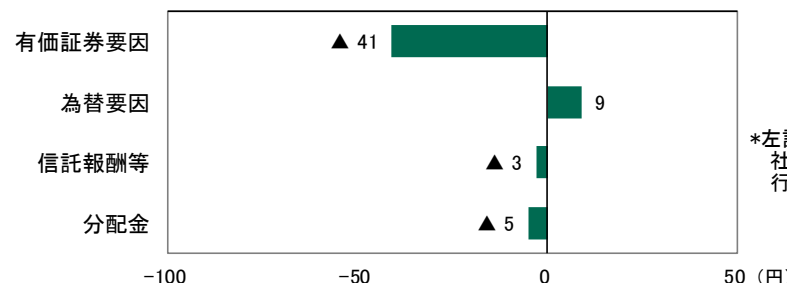
2006/4/10~2006/6/12	2006/7/10~2012/12/10	2013/1/10 ~ 2018/6/11	2018/7/10	設定来合計
25円	30円	5円	5円	2,750円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようにお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動き(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

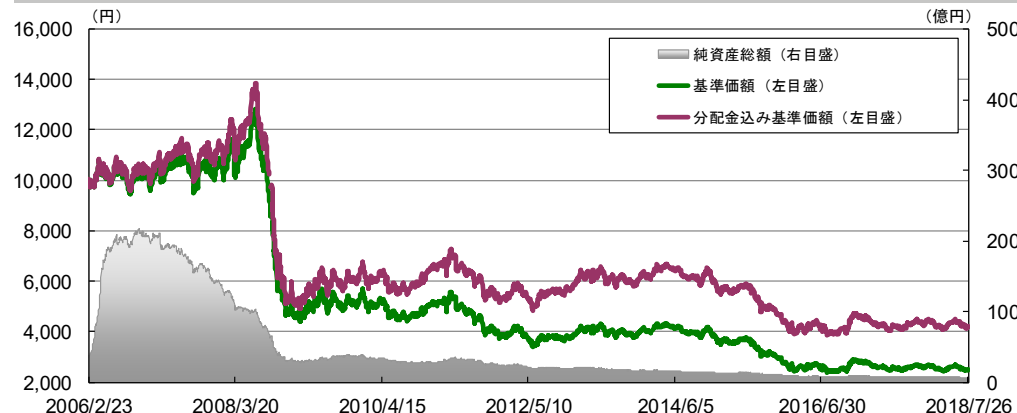
基準価額の月間騰落額要因分析

月間の騰落額 ▲40円



*左記の要因分析は、委託会社独自の見解に基づいて行った試算です。

基準価額・純資産の推移・騰落率の推移



*上記の「分配金込み基準価額」は過去に支払った分配金を再投資したと仮定して計算していますので、実際の基準価額とは異なります。なお、再投資する際に税金は考慮しておりません。基準価額は信託報酬(年1.2%+消費税)控除後のものです。収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

*当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

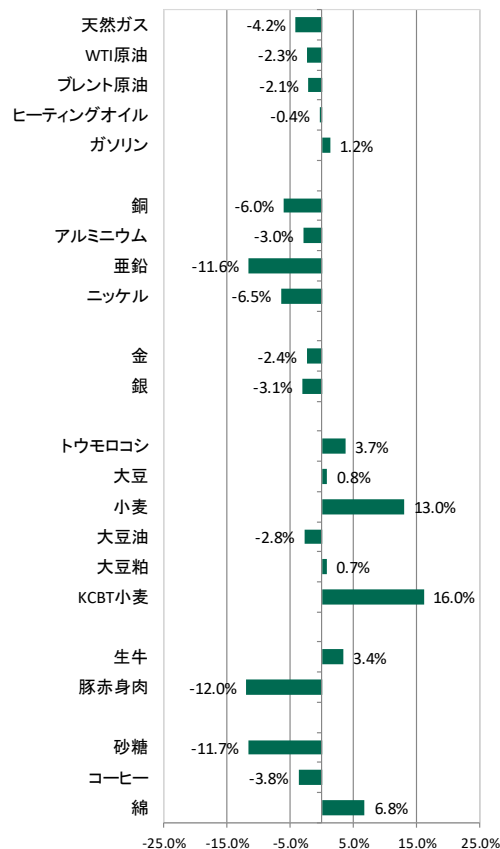
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンドの収益率	-1.4%	-3.2%	-3.9%	0.2%	-21.2%	-57.8%
ブルームバーグ商品指数(円換算)	-1.2%	-3.0%	-3.5%	1.7%	-17.5%	-51.8%

*ブルームバーグ商品指数(円換算)は、前日のブルームバーグ商品指数に当該日翌日の円/米国ドル為替レート(三菱UFJ銀行仲値)を乗じた円換算指数を当社が計算したものです。

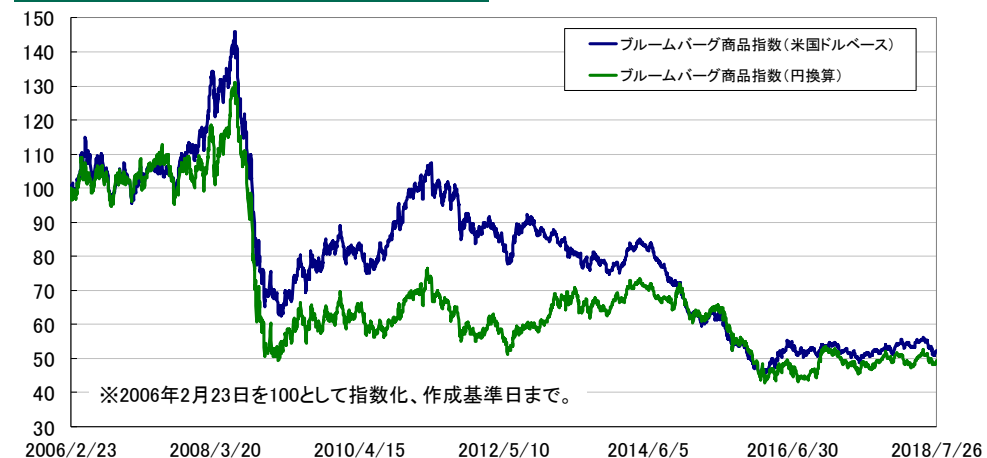
ブルームバーグ商品指数の構成比

	2018年 基本構成比	月末 構成比
ブルームバーグ商品指数	100%	100%
エネルギー	30.4%	33.8%
天然ガス	8.0%	8.3%
WTI原油	7.3%	8.5%
ブレント原油	7.7%	8.7%
ヒーティングオイル	3.7%	4.0%
ガソリン	3.8%	4.4%
非鉄	17.5%	16.1%
銅	7.2%	6.3%
アルミニウム	4.5%	4.3%
亜鉛	3.1%	2.4%
ニッケル	2.8%	3.1%
貴金属	15.6%	14.6%
金	11.9%	11.3%
銀	3.7%	3.3%
穀物	22.4%	23.4%
トウモロコシ	6.1%	6.5%
大豆	6.0%	5.5%
小麦	3.3%	4.2%
大豆油	2.7%	2.4%
大豆粕	3.0%	3.2%
KCBT小麦	1.3%	1.7%
畜産物	6.4%	5.5%
生牛	4.3%	4.0%
豚赤身肉	2.1%	1.5%
農作物	7.6%	6.5%
砂糖	3.5%	2.6%
コーヒー	2.6%	2.3%
綿	1.5%	1.7%

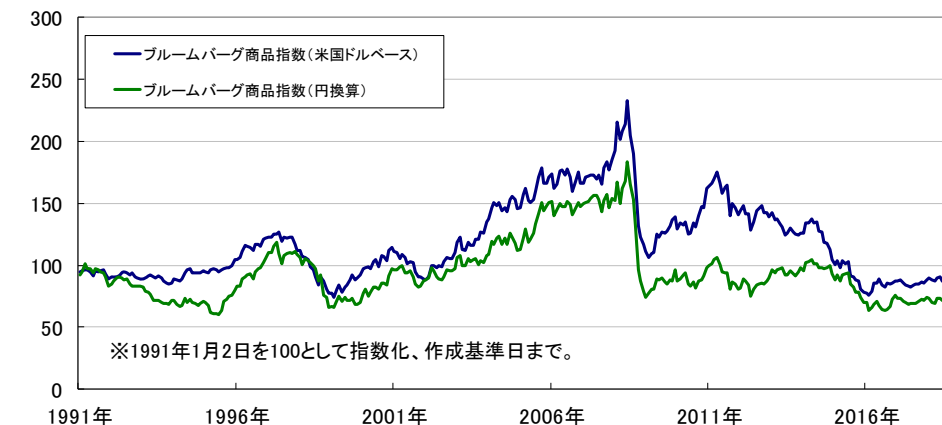
月間騰落率



<ご参考>ブルームバーグ商品指数の推移
 ファンド設定日から作成基準日まで(日次)



指数算出開始日から作成基準日まで(月次)



※ブルームバーグ商品指数はブルームバーグのデータを基にパインブリッジ・インベストメンツが作成しています(全て米国ドルベース)。また上記数値は、小数点第2位以下を四捨五入しているため合計値とあわない場合があります。上記実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)および「ブルームバーグ(Bloomberg[®])」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance LP.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、パインブリッジ・インベストメンツ株式会社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時に御渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動き(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

マザーファンドのコメント

市場動向

ブルームバーグ商品指数（現地通貨ベース）は下落しました。主な下落セクターでは農作物の砂糖と非鉄の亜鉛が共に大幅下落した他、ニッケル、銅を含め、米中貿易問題が引き続き懸念された非鉄の下げが全般目立ちました。まず砂糖は、世界生産第2位のインドが輸出量を更に増加させ、引き続き波乱要因となりました。また亜鉛は貿易問題に加え、中国の経済成長鈍化観測や豪州鉱山の生産再開も追い打ちをかけました。尚、原油も軟調で、貿易摩擦が需要鈍化に繋がる懸念等が売り材料となりました。一方、主な上昇セクターは大幅高した小麦を筆頭に穀物が総じて上昇し、農作物の綿も上昇しました。小麦は、欧州を始めとした米国以外の主要産地の天候による生産減少要因が月を通して買い材料となり、また綿は米国産地の天候悪化や米農務省の世界的な需給逼迫発表が好材料となりました。

運用報告

当マザーファンドは、商品指数連動債の発行体の分散を図る目的から、引き続きUBS、バークレイズ銀行が発行体となる銘柄を保有しています。

また、組入銘柄の債券の残存年数については、金利リスクや流動性を考慮し、2018年10月24日、2019年1月18日に満期が到来する2種類の債券を保有しています。なお、UBSは7月中旬にローオーバーを行いました。

当ファンドは、2018年8月31日付で信託終了（繰上償還）いたします。受益者の皆さまのご愛顧に重ねて御礼申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

運用方針

当ファンドでは、商品指数連動債への投資を通じてブルームバーグ商品指数が表す世界の商品市況に中長期的な動きが概ね反映される運用成果を目指して運用を行っています。

なお、組入れている外貨建て資産については、当ファンドの運用方針に基づき原則として為替ヘッジは行いません。

今後の見通し

主な注目点をセクター別に見てみますと、エネルギーセクターは、引き続き原油・ガソリン在庫状況やOPEC動向に加え、世界景気及び金融市場の動向、またシェールガスや同オイル（頁岩（シェール）層から採取される天然ガスや原油）の生産動向、そして地政学的リスク等に左右されるものと予想されます。次に非鉄セクターは、世界的なマクロ経済動向、LME（ロンドン金属取引所）の在庫状況に加え、主要需要国である中国でのインフラ、建設需要の動向や電気自動車向けを始めとした代替需要動向がポイントになります。また貴金属セクターは、株式等のリスク性資産の値動きに加え、地政学的リスクの状況、各中央銀行の保有動向、金利および為替動向、そして中国・インドの宝飾需要等がポイントとして挙げられます。最後に穀物や農作物セクターでは、中長期的な中国等の新興国の需要動向や代替エネルギー需要（とうもろこしや砂糖）、そして短期的な生産国の天候や作付け状況といった供給要因が相場の方向性を左右すると考えられます。商品市場全体では、短中期的には、欧米や中国を始めとした世界的なマクロ経済動向に加え、天候等の影響による各商品の需給状況に左右される展開が続くものと想定しています。しかし長期的には、日米欧など先進国は緩やかながらも成長が期待される上、新興国についても相対的に高い経済成長が期待できることから、世界的な需要の伸びが商品市場の下支えとなると見込まれます。

ベビーファンドのコメント

パインブリッジ・コモディティファンド<ネイチャーメイド>は、パインブリッジ・コモディティマザーファンドを高位に組入れることを目指した運用を行いました。

このような運用を行った結果、前月末に2,538円だった基準価額は、為替は円安米国ドル高となったもののコモディティ市場が下落したことを受けて、当月末は2,498円となりました。

※上記の運用方針や見通しは作成日時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該方針が変更される場合があります。また、将来の運用成果等を保証するものではありません。

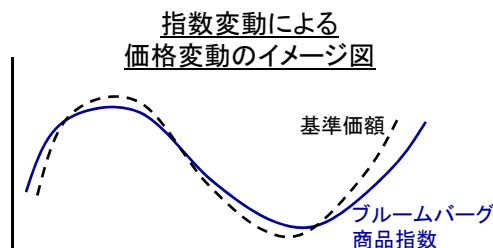
■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動き（外国証券は為替相場の影響を受けます）を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

リスクおよび留意点

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券を通じて、ブルームバーグ商品指数の騰落率に償還価額等が連動する商品指数連動債など値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります。）に投資します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これら運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属しますので、お申込みにあたりましては、当ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえお申込みください。当ファンドの有する主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

当ファンドの主要投資対象である米国ドル建ての商品指数連動債は、ブルームバーグ商品指数の騰落率に償還価額等が概ね連動しますので、ファンドの基準価額はブルームバーグ商品指数の変動の影響を受けます。これにより、当ファンドの基準価額が変動し、投資元本を割り込むことがあります。



※上記はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではなく、将来の成果をお約束するものではありません。また、実際の基準価額や指数の動きを示唆するものではありません。

商品市況リスク

ブルームバーグ商品指数は様々な商品市況の価格変動を表す指数であり、指数を構成するそれぞれの商品の需給関係や為替、金利の変化など様々な要因で大きく変動します。また、それぞれの商品の需給は景気、環境、天候、農業生産、貿易動向、疾病、伝染病、労働問題、資源開発、技術発展、政府の規制・介入、生産者や企業の政策、投機家の動向など様々な要因で変動します。これにより、当ファンドの基準価額が変動し、投資元本を割り込むことがあります。

為替変動リスク

当ファンドは米国ドル建ての商品指数連動債を主要投資対象とし、原則として為替ヘッジを行わないため為替変動リスクを伴います。外国為替相場は、金利動向、政治・経済情勢、需給その他の様々な要因により変動します。この影響を受け外貨建て資産の価格が変動し、基準価額が下落することがあります。一般に、円安／米国ドル高は基準価額の上昇要因に、円高／米国ドル安は基準価額の下落要因となります。



※上記はイメージ図であり、当ファンドの運用成果を表すものではありません。

信用リスク

組入有価証券等の発行体および取引の相手先の倒産や財務状況の悪化等の理由による価格の下落、利息・配当・償還金の支払不能または債務不履行（デフォルト）の影響を受け、基準価額が下落することがあります。

金利変動リスク

金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に、金利が上昇した場合には債券価格は下落し、ファンドの基準価額を下げる要因となります。

流動性リスク

組入有価証券等を売買しようとする場合に、当該有価証券等の需給状況により希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け基準価額が下落する要因になることがあります。

※指数に関する留意点

当ファンドは、ブルームバーグ商品指数の騰落率に償還価額等が連動する米国ドル建ての商品指数連動債を、原則として高位に組入れて運用しますが、ファンドの基準価額の騰落率とブルームバーグ商品指数を円換算したものの騰落率は必ずしも一致しません。この要因は、主として、ファンドの流動性を確保するためにファンドの一部を短期金融資産に投資すること、資金の流出入から実際に商品指数連動債を売買するためのタイミングのずれ、商品指数連動債の売買・評価価格と指数とのずれ、ならびに売買コストや信託報酬等の費用を負担すること等によるものです。またファンドの投資成果がブルームバーグ商品指数を円換算したものと連動または上回ることを保証するものではありません。

※収益分配金に関する留意点

収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて行う場合があります。したがって、収益分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。また、投資者の個別元本の状況によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。なお、収益分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金の支払いは純資産総額の減少につながり、基準価額の下落要因となります。計算期間中の運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

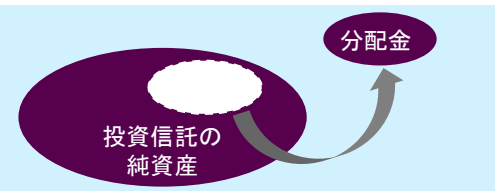
当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動き（外国証券は為替相場の影響を受けます）を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。したがって投資信託は預金とは異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ◆ 収益分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

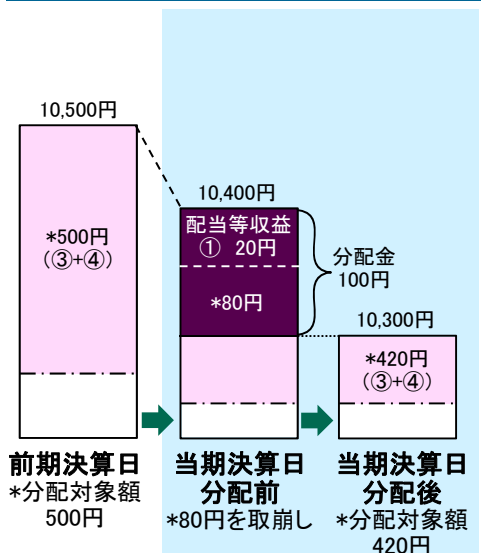
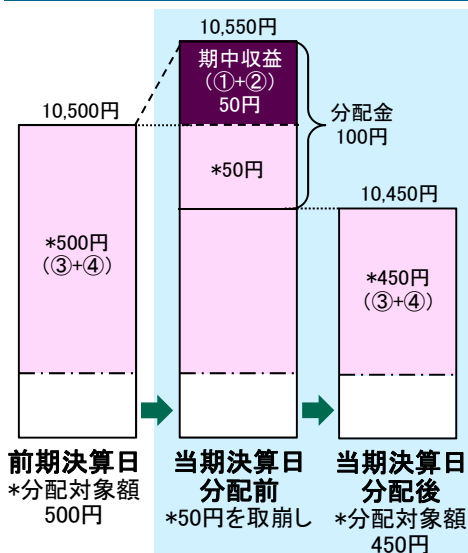
投資信託で分配金が支払われるイメージ



【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

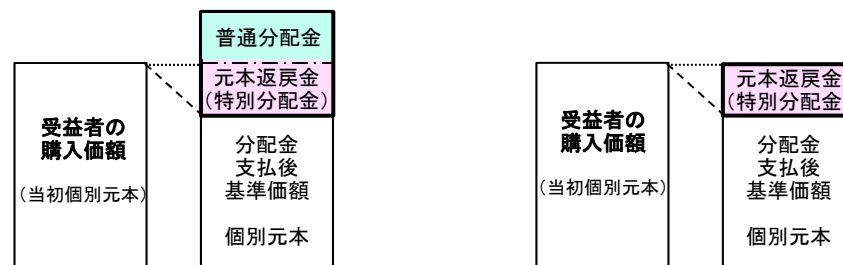
分配準備積立金: 期ごとに分配可能額を計算し、分配可能額から実際に分配した額を引いた額はそのまま信託財産に組み入れられます。

収益調整金: 新規の投資者がファンドを購入したことによって、既存の受益者が受け取れる分配金の額が薄まることのないよう、投資信託財産を計理処理する際に使う特有の勘定科目のことです。

- ◆ 受益者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)等をご参照下さい。

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動き(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

お申込みメモ

- 信託設定日 2006年2月23日
- 信託期間 2018年8月31日
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から当該基準価額の0.3%の信託財産留保額を控除した額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 申込受付中止日 ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日、もしくはブルームバーグ商品指数の算出・公表されない場合
- 収益分配 毎月10日の決算日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。
 <分配金受取りコース> 決算日から起算して5営業日までにお支払いします。
 <分配金再投資コース> 税金を差引いた後、無手数料で再投資されます。

※詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、販売会社の本支店等にご用意しています。
- 投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社: **パインブリッジ・インベストメンツ株式会社**
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第307号
 加入協会/一般社団法人投資信託協会、
 一般社団法人日本投資顧問業協会、
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- 受託会社: **三菱UFJ信託銀行株式会社**
- 販売会社: 委託会社の指定する金融商品取引業者および登録金融機関

お問い合わせは・・・**パインブリッジ・インベストメンツ株式会社**
<https://www.pinebridge.co.jp/>
TEL: 03-5208-5858 (営業日の9:00~17:00)

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

投資信託には、ご購入・ご換金時に直接的にご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

- 購入時に直接ご負担いただく費用
 - 購入時手数料: 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に3.24%(税抜3.0%)の率を乗じて得た額を上限として、販売会社が定めるものとします。
 - 換金時に直接ご負担いただく費用
 - 換金時手数料: かかりません。
 - 信託財産留保額: 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
 - 運用管理費用(信託報酬): 信託財産の純資産総額に年1.296%(税抜年1.2%)の率を乗じて得た額とします。
 - 監査報酬: 上記運用管理費用の中に含まれています。
 - その他費用: 有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の保管費用等(その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。詳しくは、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

■ 本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■ 当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動き(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■ 本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。■ 本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

交付目論見書のご請求・お申込場所(証券会社、銀行別50音順)

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
カブドットコム証券株式会社(インターネットのお取扱のみ)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		
株式会社イオン銀行(インターネットのお取扱のみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・ リミテッド(銀行) (既存の分配金再投資のお客様に限ってのお取扱のみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号	○		
株式会社埼玉りそな銀行(インターネットのお取扱のみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
ソニー銀行株式会社(インターネットのお取扱のみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	○
株式会社東京スター銀行(新規の取扱いを停止しております)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第579号	○	○	
株式会社北都銀行(既存のお客様の自動積立、分配金再投資に 限ってのお取扱のみ)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○		
株式会社三井住友銀行(既存のお客様限り)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
株式会社りそな銀行(インターネットのお取扱のみ)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	

■本資料はパインブリッジ・インベストメンツ株式会社によって作成された販売用資料です。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取のうえ内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。■当ファンドの基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券等の値動き(外国証券は為替相場の影響を受けます)を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。■本資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について保証するものではありません。過去の実績に関する数値は、将来の運用成果等をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。